

はしあき

日本農民組合は昭和六年一月舊日本農民組合總同盟と旧全日本農民組合との合同によりて設立されたものであるが、昨年四月所謂國家社會主義に方向轉換したる爲め旧總同盟一派と袂別し、日本農民組合成立以前の状態に還元したものである。

本組合全國大會は、組合が國家社會主義轉向後に於ける最初の大會であつた。本大會に於て、特に目立つたのは同組合に於ける國家社會主義一派と、國家主義一派の對立であつたことである。即ち皇道會並に軍部に對する態度上ついての緊急動議が山梨縣聯合會の松澤氏より提案せられたるを機として、對立傾向が驟然と表明され、大會は平穩なかり常に對立的混迷の空氣のもとに終つたかに見えた。以下本組合全國大會の狀況を述べておく。  
(下河部記)

日時 昭和八年一月廿日 午前十一時十五分—午後五時三十分  
場所 東京市芝協調會館

午前十一時十五分北山玄四三氏の開會の辭に始まり、議長に稻富稔人氏、副議長に菅舜英、松澤一の両氏を推した。

議長稻富氏の挨拶あり、續いて大會書記、並に各種大會委員を左記の通り任命した。

資格審査委員 菊地氏外六名

議事進行委員 河田氏外七名

宣言起草委員 今里氏外五名

法規 委員 北山氏外五名

役員選衡委員 稻富氏外十三名

次いで祝辭、祝電の披露を承したる後、一般情勢報告